

No. 25

1993

4月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井武平
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



去る十二月末で区の代議員と各委員の改選が行なわれました。退任された皆様に対し、その御骨折りに感謝申し上げ、又新任の皆様には、今後、区の発展の為に御尽力を御願い申し上げます。

裁判については、本年一月に、東京高裁から上告人（宇佐美不動

区の情勢について

区長 下井武平

産）に棄却の判決がありました。然し上告人は最高裁に上告しましたので、今後裁判が続きますが、勿論必勝を確信しております。

道路については、学校平・町民グラウンド南・保育園北側・江戸ヶ沢橋桁等も着工され、朝霧道路は舗装をして完了、田村線も大部分終了しました。

広域農道は、大島川以南は全線片側歩道として設計が遅れておりました。然しこれも過日、関係者への説

萩の里ふれあい広場

民生委員 松下美保

三月一日、やすらぎ荘で第四回萩の里ふれあい広場が行なわれました。天候にも恵まれ区内の高齢



肩たたき

者や体の不自由な方、一人暮らし二人暮らしのお年寄りや介護者の皆様、そして保育園児と保母さん合わせて二、三〇名の招待者。区長さん以下区の皆様。出演の方々との大変和やかなふれあいの中で親睦と交流が生まれました。開会式に続き可愛い園児の歌や手遊びでその仕草に合わせて手を動かしての肩たたき。「ああいい気持ち、ありがとや」と肩の小さい手を握り顔を近づける微笑ましい情景でした。

明会が済み、本年度より着工の運びとなりました。河川については、相の沢川の一部改良に着工、三月末完了予定であります。又町の振興計画は、区民全員の御苦労により立派な計画が出来、計画書が部落長に配布されました。

下市田中段の土地改良については、推進委員会も充足し具体的に進められることになりました。

尚、本年度は、二区及び三区の生活改善センターが建設されることになり、立派なセンターの完成を御期待申し上げます。

背広、パジャマ、ジャンパー

高森町町長 吉川 貢

「サラリーマン、背広とパジャマで用が足り」こんな句が現代川柳百選に入っていた。

今都市化の波により、人々の生活がかつての地域中心から職場中心に移ってしまい、家庭はパジャマで用が足りる「ねぐら」になってしまおうとしている。そして急激な産業構造、社会構造の変化は、地域の連帯を弱め本来地方自治の担い手である住民が相互扶助的に解決すべき領域と、専門的に行政が行なうべき領域を曖昧にしてしまった。草団はとくに消え、婦人会も風前の灯となっている。道路の「雪かき」もかつては家の前は後回しにして行なっていたのに、今は除雪機が遅れると「何時になるんだ、道路管理者は誰だ、税金を出しておるゾ」と電話が来る。



こんな中で下市田区では、二区の共星会、四区の漸進会、五区的双葉会など法被姿で「萩の里祭り」や地域運動会が年毎に盛り上がりを見せている。これらイベントへの参加や企画過程の中で親しい人間関係が生まれ、共通の生活課題解決の場となっていく。二区・三区の大型会所、懸案の中段道路整備、生活大国下水道処理場など期待したい。

昨年は「ホメ殺し」という流行新語が生れたが今、町の周辺は「ホメ殺し」されそうな課題が山積している。高齢化、遊休農地、縦割行政……住みよい生活づくりには、本来、地方自治の担い手たる地域住民の皆さんと専門の行政サービスの役割分担、協力関係が不可欠である。町職員に権力者として役場の窓辺から地域を見下ろすのではなく、地域から役場を見上げて住民と共に歩もう、「背広とパジャマで用が足りる職員」ではなく、「普段着のジャンパーで住民と共に歩もう」と話合っている。

新代議員紹介

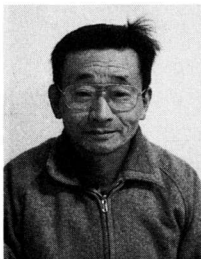
壬生俊幸会長挨拶

新年度初の代議員会において会長の大役をお受けする事になりました。

お引き受けした以上、最善の努力をして参りたいと考えております。

一二〇〇戸を超える人口増加の激しい大区であり、新旧住民の調和の取れた地域作りが大きな課題です。

幸い区の三役の方々は、町議経験卓越した行政感覚を備えておられ、代議員としても対応できる意識感覚の研鑽に努め、新旧住民の意見を尊重し、郷土芸能文化の伝統保存、更に区民の心のふれあいコミュニケーションの場を住民総ぐるみで対応し、更に充実して参りたいと存じますので、区民のみなさまの尚一層のご協力を是非お願い申し上げます。



宮 沢 努



上 沼 啓 孝



北 沢 貞 男



北 沢 善 二 郎



副会長 棚 田 頼



会長 壬 生 俊 幸



林務委員長 有 賀 重 昭

役員改選により新体制で昨年同様の方向で、立派な区有林に行きたいと思

各委員長紹介

います。

立派な森林を育てるには、「区有林の境界確認」「区有林全体の見廻り」「つる切り、枝打、除伐、間伐」「広葉樹も大切に」「成長の早い針葉樹も大切に」等が重要な事です。森林の有する機能の



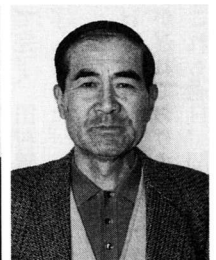
北 原 幸 男



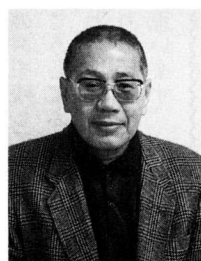
三 村 修



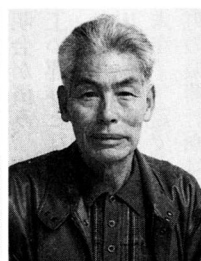
木 下 豊



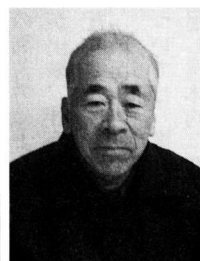
福 島 宜 明



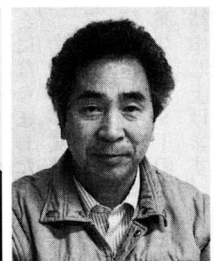
北 原 勝 朗



岩 崎 喜 一



小 川 純 弘



林 稔

人と地域づくりのお手伝いを

公民館長 北島 剛



の援助に関わることが多く、地域づくりや人づくりの事業が主になっています。今年から部落をまとめる主事が専任となったので、各部落との連携がスムーズにでききづよい限りです。

今回の改選により私達三名は二年間下市田の役員を担当する事になりました。技術革新により寿命が伸び、時間的にもゆとりがでてきました。そこで働くだけの一生で終わらないように、個性や能力を思いきり発揮し、実りのある人生を過ごそうという生涯学習が行われるようになって参りました。

事業の推進にあたっては主事・部員の英知を結集して立案し、その内容は区民の皆さん方に周知徹底してから実施するようにしたいと考えています。

社会構造や価値観の多様化により公民館の活動もニーズに応えなければならぬと思っています。

公民館長 退任あいさつ

田口 正幸

下市田区のことや公民館活動について理解の浅かった者が副館長に続いて館長となり、この間、公民館活動について区民の皆様のご

種類としては、「資源かん養」「土砂流出防止」「土砂崩壊防止」「保険休養」「野生鳥獣保護」「酸素供給大気浄化」等があげられます。

森林の機能、役割は、人間にとっては掛け替えの無いものです。

『大切にしよう山の木を』『子孫に緑豊かな森林を』



土木委員長 庭村 男

我々土木委員は、各部落一名ずつ、計六名にて、今年も、昨年に負けない様に

協力を得て大過なく任期を終えることができました。

区の役員を始め代議員会の深いご理解とご支援は勿論のこと。事業や行事に当

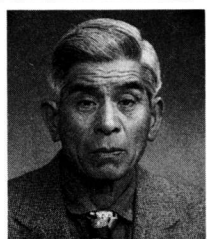
ては公民館部員の一致団結した活動に加えて、各部落の役員や関係団体のご協力を得て成果が上りましたことに厚く御礼申し上げます。

今後は地域や社会の奉仕活動に微力を尽したいと存じます故、変らぬご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げます。

頑張りたいと思います。区民の皆様のご指導とご協力の程、お願い致します。

土木委員の主な仕事としては、町単道路の維持、新設、改良、舗装工事等が、速やかに出来る様調査し、部落長さん、常会長さん、関係各位と協力して、地権者の方に、承諾のお願いをする事です。これが本当に大変な仕事ですが、頑張ります。道路維持としては、

区民全員による里道作りを、春と秋の二回行ないますので、今年もご協力をお願いします。道路は、安全に、譲りあい、大切に……こんな気持ちで使用できたら喜ばしい事だと思います。

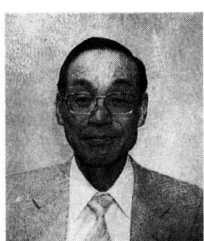


水利委員長 北沢 昭夫

此の度水利委員長の責をお受けする事になりました。微力な私では有りますが、委員の皆様・区民の皆様のお力添え御協力をお願いいたします。委員会の仕事は、主に用水路及び堤の維持管理で、春は土手焼き、夏は草刈りです。下市田区内の道路も整備され、新しい家も

多々建ち、少し大雨が降ると道路・家屋の雨水が河川に入り、溢れて農地を荒す危険も出て来ます。各地区から出て来ました用排水路

工事については、町の五ヶ年計画に基づく予算付けの上に進めております。水利委員一同、皆様の御要望を受け止め、努力して参りたいと思います。ご理解とご協力をお願い致します。



厚生委員長 伊奈川 和人

私今度の改選に依り、誠に未熟な者が、厚生委員会の委員長に重責を汚すこととなりました。元より其の器では有りません。皆様方の御指導をお願いします。

区の厚生委員会と致しましては、家庭の雑排水に依る処の河川の汚染問題と、一般廃棄物の収集作業等が、重点事業と考え取り組んで居ます。雑排水対策には、浄化槽の普及推進で対応し、悩みのごみ対策は、現状の資源ごみと埋立ごみの分別収集作業の徹底と指導に努め、省力化簡素化を計り、各家庭への袋の配布と責任

あるごみ収集を目標としております。今日迄各地域の役員、皆様方の御協力に感謝申し上げますと共に、今後の御指導と御協力をお願い申し上げます、私の御挨拶とさせていただきます。



消防委員長 清水 英昭

下市田の区民のみなさんご協力をいただき、二年間の任期全力投球いたしますので更に協力お願いします。消防委員は、各区消防施設の維持管理、新設に関する調査、改善活動を行なっていますが、施設、器具は、地区計画に基づき順次新設し現在相当完備いたしました。火災防止活動については、消防団員と機会あるごとに連携をとり協力しあって活動いたしますが、協力組織である自治消防団にも強力なご支援をお願いして行きたいと思っています。本期は特に消火器具の正しい取扱指導と、火災防止意識の高揚運動を展開し、無火災で明るい地域づくり活動をいたしますので、よろしく願います。

地元出身町議との 懇談会報告

教養部

下市田区と公民館主催による「地元出身町議と語る会」は、去る二月二十七日午後六時半より下市田公民館二階大会議室に於て開催されました。

例年六月に行なわれておりましたが、今年は、町議選の年でもあり、二月になりました。

当日は、上沼芳計、坂牧俊彦、原昭夫、新井衛、小宮山佳子各議員の御出席を頂き、区より三役、公民館三役、代議員の皆様、区民八十余名が出席し、主催者側公民館長の挨拶のあと、各議員より町議活動報告をして頂きました。

上沼総務文教委員より前回の懇談会で出された問題の回答をいただき、中学生の非行については、正常化している。文化財(分枝)については、町の貴重な財産であり、



若千の予算を組み補強して姿を守りたい。又柿とカヌーの町整備事業として建設省より親水公園の話があり、町も協力してほしいとの報告がありました。

坂牧産業委員からは、開発公社運営のサイクリングターミナルの評判が良い。商工関係では、バブル崩壊の影響があり対策が必要である。農業振興事業としてアイスクリーム、シャベットの湯が洞にて販売。高齢化対策として農機具の購入、ライセンサーが改造され、秋より使用可能。又農地対策として農政協議会で営農を含め話し合いがされている。



等の報告がありました。原建設委員より全体的なお話として上段道路が五月鬼の手大橋を除いて完成予定。羽根線道路については平成五年度完成見込み、明神橋掛け替えについては平成八年完成予定である。江戸ヶ沢、黒沢川の整備改修等の報告がありました。小宮山社会委員からは、

老人福祉として在宅老人短期保護事業等利用の呼びかけ(介護者の湯が洞入場無料券配布他)、児童福祉に關しては、児童手当、出生率横ばいの報告がありました。

新井社会委員からは、環境水道関係のお話があり、ゴミの処理場の山吹垣外地区へ設置されほぼ完成、ゴミの分別収集の徹底、公共下水道処理場の対策委員会ができ視察が行なわれた等の報告がありました。

各議員からの報告の後、引続き懇談会に入りました。Q 昨年もお願いしたが、是非高寿館の設置を望む。町議への要望として区内を限なく歩き、状況をみてほしい。

Q 老人保健福祉計画作成に当たっての対処について。A 懇談会で高齢者実態調査を行ない検討中である。

Q 町政が住民の知らない所で決定する事が多いがどうしてか。公園が多い。

A 公園については、規定に合えば補助金が公布される事になっていて、将来価値あるものになると思う。

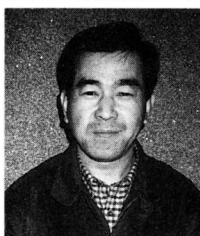
Q 旧下市田学校の建物を外観、内観の生きた暖かい建物にして欲しい。

A 町の管理化の基、意向にそって進めていきたい。その他多くの質疑があり、盛況の内に時間となり、懇親会に移り、和やかに町議との懇談会が終了致しました。

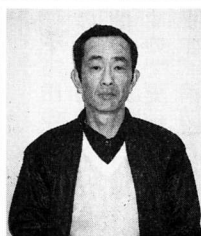
下市田公民館 各部長紹介



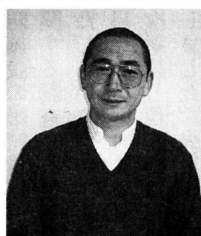
視聴覚部長
小島 俊 孝



図書部長
北 沢 幸 保



体育部長
鎌 倉 孝 三



教養部長
沢 泰 一

下市田区に住んで

一区 田中 広

づく感じました。卒直に申しまして、驚いた事が一つあります。

平成元年、結婚と期を同じくして、下市田日影に新居を構えました。

右も左もわからず、心細い思いをして、いる私達を、常会の皆様方は、あたたく迎えてくれ、何か事ある度に声をかけて、少しでも早く馴染める様、導いてくれました。会話の少ないアパート住いとは違い、一人とのふれあい人情の深さというものをつく

ようこそ下市田へ

それは、行事(大・小にかかわらず)の数が多いという事です。参加する方も大変だと思いますが、それにも増して、先に立つて行う方々のご苦労は並々ならぬものがあると思ひ、感服致しました。未熟な私共ですが、今年から二年、安協と体育部との二つの関係で、お世話になりますので、少しは皆様方のご苦労がわかるのではないかと思っております。

四季折々の草花が咲く手入れのゆきとどいた公園がある……そんな自然環境に恵まれたこの良き地に、永住できる事を大変うれしく思います。実家や職場が町内ではありませんが、下市田の一住民として、皆様方と早く足並みがそろいう努力していきたいと思っておりますので、これからよろしくお願い致します。



転勤族

二区 中島 恒夫

胸を撫でおろしました。でも登校拒否になったら

松本から引越して三年がたちました。高森町がどこにあるのか、どんな町なのか、どこに住むのか、心配と不安はいつもたくさんありました。

そして、今回は長女の入学。案の定、入学式当日に緊張のあまり気分が悪くなり、家中で右往左往し、何とか無事に済んだ時には、

どうしようと、心配は更に続きましたが、高森町の人達の人柄の良さ、環境の素晴らしさに助けられ、毎日元気に学校へ通っています。次女は、保育園の年中から、自然環境の中で、体験生活を重視する、下市田保育園に、二年間お世話になり、心身共に、大きく成長してくれました。園長先生、



保母の先生方、おいしい給食を作って下さった給食の先生、お友達のおかげだと感謝致しております。その次女も、四月から、新生一年生として、高森南小学校にお世話になります。そして、常会の皆様、下市田二区の皆様、お世話になりました。今年も、高森町の住民として、今まで

平成5年度 下市田区一般会計予算

平成5年3月14日議決

(1. 収入の部)

区 分	予 算 額
1. 区 費	14,541
2. 繰 入 金	7,740
3. 町 支 出 金	6,000
4. 財 産 収 入	1,300
5. 寄 付 金	1,200
6. 消 防 義 務 金	2,500
7. 諸 収 入 金	1,250
8. 前 期 繰 越 金	2,000
合 計	36,531

(2. 支出の部)

(単位 千円)

区 分	予 算 額
1. 総 務 費	12,869
2. 厚 生 費	702
3. 林 務 費	1,206
4. 土 木 費	10,000
5. 水 利 費	4,250
6. 消 防 費	3,050
7. 公 民 館 費	2,980
8. 公民館建設基金	0
9. 予 備 費	1,474
合 計	36,531

平成5年度 下市田公民館予算

(自平成5年4月1日～至平成6年3月31日)

平成5年3月14日議決

歳入の部 (単位 千円)

科 目	予算額
繰 越 金	80
繰 入 金	2,980
補 助 金	900
雑 収 入	5
合 計	3,965

歳出の内訳

目	予算額	区分・金額(節)
1. 総 務 費	1,850	1. 報酬手当 1,160
		2. 需 要 費 369
		3. 活動補助金 305
		4. 会 議 費 16
2. 教 養 部	1,184	1. 行 事 費 1,142
		2. 会 議 費 42
3. 体 育 部	583	1. 行 事 費 356
		2. 備 品 費 120
		3. 消 耗 品 費 35
		4. 会 議 費 72
4. 視聴覚部	211	1. 視聴覚費 183
		2. 会 議 費 28
5. 図 書 部	107	1. 図書購入費 65
		2. 会 議 費 42
6. 予 備 費	30	1. 予 備 費 30
合 計	3,965	

歳出の部

科 目	予算額
公民館費	3,965
合 計	3,965

四区は和の部落

四区 北原 幸男

わたし共の四区は、第三・新井・市場・上洞・洞と五つの常会で、九十一戸と下市田で一番小さい部落です。又、地形的にも町で一番広い森を持った段丘をかかえ、何をしても大変なハッピーをもらっています。それでも、そのことが却って団結を生む

力となり、「四区はまとものある部落だ」と、よく言われますし、私達もそのことを誇りにしております。これこそ、昔からの諸先輩の並々ならぬ努力の結晶であり、尊い財産で、いつまでも守り育てていかなければと、心を新たにしております。

さて、今年の四区は、まず一月一日の元旦マラソンで年が明けました。



四月には、部落あがてのスポーツ大会を予定しており、花いっぱい運動も部落各所で計画され、地域農政

では、六月頃先進地視察も予定しており、なお、ふるさと婦人部も、例年のように地域興しの先進地に行つてしようと、良いところを物色中です。地味ながら、常会の巡回図書も行われ、育成会では、今年も阿南少年自然の家へ子供達だけで、行つてまいります。

そして、これらの成果は全て、部落みんなの目的である「皆が楽しく安心して暮らせる四区」を造り上げる基となることでしょう。

地域情報の特徴紹介

下市田六区

の地域情報の特徴紹介というのですが、

ダサラといえは夏祭り伊那谷の風物詩市田灯籠流し、大煙火大会ですが、この事については、昨年、萩の里区報で詳細に紹介致しましたので、今回はお祭り広場について紹介させて頂きます。

J R市田駅貨物の積卸し跡地の払下げについては、町・区の関係当局のみならず、部落お祭り広場研究委員会のみなさんのご苦労

地域活性化をめざして

六区 岩崎 喜一

により、現在の立派な広場が出来上りました。予定としては、ダサラ商店街再開発として地域活性化のため、に意気込んでいたのですが、諸般の事情により現在は、駐車場を兼ねて、お祭り広場になっております。何年か先には活気ある町づくりの一環になる事を期待しております。

現在はどのようにして利用しているかを紹介します。一番利用しているのが買物



二分に利用して、地域発展のために努力致します。

平成5年度 下市田公民館年間事業計画

体育 部		教養 部・視聴 覚 部	
月日曜	行事名・内容	月日曜	行事名・内容
6 / 13(日)	区スポーツ大会 ・ グランドゴルフ (町グ) ・ ソフトミニバレーボール (町体)	2 / 27(土)	地元出身町議との懇談会
7 / 11(日)	町スポーツ大会 ・ グランドゴルフ (町グ・小中グ) ・ ソフトミニバレーボール (町体)	4 / 3(土)	萩山神社春祭
8 / 16(月)	町盆野球大会 (町グ・小中グ)	4 (日)	・ 獅子曳き・ 囃子屋台
11 / 3(火)	町民運動会 (中グ)	6 / 26(土)	教養講座 (講演会)
H 6	町民運動会 (中グ)	7 / 31(土)	萩の里祭り (下市田保育園庭)
2 / 13(日)	町スポーツ大会 (町体・小中グ)	9 / 26(日)	・ 盆踊り
2 / 20(日)	区スポーツ大会 (町体)	10 / 16(土)	・ お楽しみコーナー
	・ ドッジボール大会	17(日)	区カラオケ大会 (萩山神社の夕祭)
	・ 卓球	区文化祭 (作品展・クラブ発表)	
図 書 部	1. 図書貸し出し 下市田公民館二階	区文化祭・敬老会	
	・ 定期日毎月15日 (5～9月 20:00～21:00 10～4月 19:30～20:30)	教養講座 (講演会)	
	・ 定期日以外の日 (部員不在) でも、備え付けのノートに記入して利用出来ます。		
	2. 図書の購入 6月の部員会で研究のうえ購入		
	3. 新規購入図書の展示 10月16・17日の文化祭当日		
	4. 図書の修理・整理及び部の運営等 部員会を招集して随時行う。		

平成5年度 各部落コミュニティ年間事業計画

体育 関係		そ の 他	
月日曜	行事名・内容	月日曜	行事名・内容
4 / 11(日)	四区スポーツ大会 ・ グランドゴルフ (南小グ) ・ ソフトミニバレーボール (南小体)	4 / 11(日)	四区ふれあい広場 (南小校庭・生改セ)
18(日)	一区スポーツ大会 ・ ソフトミニバレーボール (町体) ・ グランドゴルフ (町グ)	7 / 中	・ ふれあい昼食会 ・ ふれあい交流会
5 / 16(日)	六区スポーツ大会 ・ グランドゴルフ (出砂原運動広場)	8 / 上	二区納涼祭 (二区コミュニティ広場) 共催と共催
6 / 27(日)	三区スポーツ大会 (南小グ・体)	15(日)・16(月) 18(水)	出砂原納涼祭 (出砂原お祭り広場)
9 / 5(日)	五区スポーツ大会 ・ グランドゴルフ (南小グ) ・ 綱引き (南小体) ・ ソフトミニバレーボール (南小体)	10 / 中	出砂原盆踊り大会 (駅前) 灯籠流し
10 / 10(日)	一区軽運動会 (南小体)	10 / 3(日)	高森町観光協会と共催 一区ふれあい広場 (中央広場) 踊り他
	・ 綱引き (町グ)	10(日)	五区独立世帯との交流会 (五区会館)
		H 6	一区交歓交流会 (南小体) 芸能祭 踊り・歌・カラオケ
		1 / 30(日)	三区卓球大会 (下市田公民館体)
		2 / 6(日)	一区卓球大会 (町体)
		3 / 13(日)	六区卓球大会 (町体)
			二区スポーツ大会 (二区コミュニティ広場)
			・ ソフトミニバレーボール
			・ ドッジボール

萩の里ふれあい広場に

招かれて

上 沼 五 郎 (二区)

三月一日第四回目の萩の里ふれあい広場がやすらぎに童心に帰り、又各グループの人達の心のこもった催し物を見たり聞いたりして、遂に時刻の過ぎるのも忘れる程の楽しい一日であった。この催しを進められて来た実行委員の皆さんや食事の準備、その他奉仕活動に終始された方々に心から御礼を申し上げると同時に、

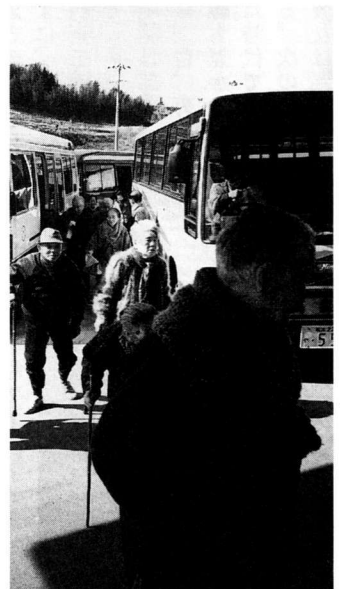
余命少ない自分ではあるが一日も長く健康を保持して、又来年も参加させてもらいたいと念じつつ帰路につきました。

小 川 ふ み (三区)

此の度萩の里ふれあい広場に招かれて、一言と、いうお話を頂き誠に筆無精で誠におはずかしく思います。一言お礼を申し上げたいと思います。三月一日の萩の里ふれあい広場に、はじめて出席させて頂き部落の役員の皆様はじめ町の社協の方々ほんとうにお骨折り下さって、私共のような一人暮らし又障害を持った方、お年寄りの皆さんをあ

栗 下 正 (五区)

たかくお迎え下さり、このような楽しい催しを計画下さってありがとうございます。皆さん大変よくこんで居りました。福祉の町高森に住む私共は、ほんとうに幸せであるとおくづ有難く思います。お骨折り下さった皆様ありがとうございます。今後共よろしくお願い致します。



戴けました。

三月一日やすらぎ荘で、萩の里ふれあい広場が行なわれました。今年では四回目で、参加者は三百八十余名と大変盛況でした。八十才以上の方、体に重

い障害のある方、ひとり暮らしの方をお招きして、保育園児の歌や肩揉み等での交流、昼食の後各部落からの大正琴やいろとりどりの踊りと、沢山のグループの方々の熱演で、楽しませて

地域活動に期待すること

杉 田 洋 一 (三区)

常会でのレクレーション、町・区・部落での公民館を中心とした活動、小さなグループでの活動、すべて地域活動と言って良いと思います。

みなさん地域活動が全面的にストップしたらどうでしょう。町作りは人作りか

これは日頃余り外へ出る機会の少ない方々に、多くの人のふれあいや健康を願っての催しであります。開催に当っては、社会福祉協議会、区長さんを始め区の関係者の皆様、公民館、町会議員、そして各種団体グループの方々等多くの皆様のお骨折りによるもので、厚くお礼を申し上げます。



明神橋の架け替えに思う

北原 昌巳 (六区)

明神橋の架け替えが、町をはじめ地元の出砂原部落、対岸の豊丘村でも重要問題としてとりあげられております。

明神橋は、明治四十二年吊橋が開通。以前は、渡舟で出砂原と田村との経済的、行政的なつながりであり、出砂原 片桐鎌一氏の祖父



は絶対なものとなりました。交通量の激増、公共性等から、木橋は架け替えの時期を迎えておりました。また、橋を渡る際、その都度橋銭を支払わねばならぬ不都合さなど、種々問題とな

先生からの贈物

今村 保一 (三区)

昨年夏の終り旅先で仲の良い中年のご夫妻との出逢いがあり、旅先の気楽さでお話をしたのがきっかけでお付き合いが始まりました。

東京都のお住まいで旅行好きで全国各地を旅行されている方で、私も話の中で伊那谷の素晴らしさ、特に実りの秋の素晴らしさを自慢げに話し、是非、秋の伊那谷へとお勧めして参ります。

私も還暦を過ぎ、増えることのない友を一人でも多くし、老後を楽しみ、厚みある晩年にしたいと願っております。

新しい友達が出来喜んで

り、県営工事で永久橋に架け替えが決定され、昭和七年四月竣工、ワーレン式曲弦鋼橋になりました。

昭和四十年を過ぎた頃より、自動車の普及が人間歩行を怯ますことになり、橋側歩道増設工事が実施され、昭和四十四年完成しました。

しかし、自動車も大型になり、橋上の避け合い、大型荷台が橋桁にひっかかる事故、橋の老朽化等で架け替えの時期となりました。

随想



いた矢先、お礼のお手紙を頂きました。この方は小学校の先生だったのです。お手紙と共に素晴らしいお土産が入っており、私はあまりの嬉しさに涙が止まらなかつたのです。何と先生は持ち帰ってもらった少しばかりの林檎をクラスの生徒さんと給食時間に味わいながら伊那谷の話を聞かせたそうです。おいしかった林檎のお礼でした。私も早速クラスの皆さんに手紙を書きました。こうして私の孫のような子供達とお手紙で

交際ができるようになったのです。

十二月に、本の市田柿と、市田柿を送り、子供さんか

らのお礼の手紙の中で、伊那谷の様子を知らせてくれる様に返事を求めて来ております。こんな素晴らしい楽しいことは、私の人生の中で初めて経験したことであり、先生ご夫妻とのご交際はもとより、先生からの贈物を大切に、クラスの子供達が大人になっても交際出来たらいいなあと、思っています。

活性化のためにも、下市田区民の皆さん、議員の皆さん等に頑張っていたいただき

友だち

富田 美奈子 (二区)

終戦直後の頃、ハルピンから引揚げて来た一家があった。色白で可愛い女生徒が私のクラスに入った。名をKさんと言う。悪戯ざかりの男子の幾人かが「ハルピンハルピン」と言ってから

絶えた。幾星霜を経た今、私も孫のお守りをする歳になった。二人の孫は兄妹で友達だ。兄の方は近所の友達の家へ約束をしたからと言って折々お邪魔をする。

子供には子供の約束があるから、守る事は大切と思う。昔の友を想い出す時、あの頃は未だ子供だった自分と、今が大切な孫たちのあいだで、迷っているこの頃の私です。

前に、私は約束を破ってしまつた。電話は部落に一台、有線も無かつた時代である。次の日彼女は「昨



小中学生の作文

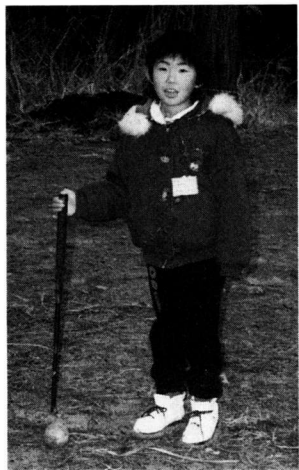
阿南少年自然の家

小二 からさわあきよ (五区)

寒中休みに、阿南少年自然の家に、お兄さんとお姉さん達と一緒にやって来ました。四区の会所から、バスに乗りました。私は、はじめてなので、ドキドキしました。と中から、大学のお姉さんが九人乗りました。私は、六番です。「私達はどうのお姉さんかなー」と思いました。お姉さんとはすぐ仲よくなりました。

阿南のプレールームは、学校より広かったです。そこで式をしました。しなの国も歌いました。外でマレットゴルフもしました、なかなかあなに入りませんでした。夜はおそくまでおきていて、六年生の考えた遊びをした

り、勉強も



阿南少年自然の家

小六代 田 貞 治 (四区)

ぼくは、今年で阿南少年自然の家へ行くのは、五回目でした。特に今年は六年生という事で、責任重大でした。一年生の世話、班長として班をまとめていく義務など大変でした。だからといって別に楽しくなかったという事ではありません。チャレンジラリー、レクリエーション、朝昼夜の食事、おふろ、部屋に帰ってからの会話、トランプ、

高森荘訪問

中二池 田 千穂子 (五区)

私達のクラス、二年三組では、八月四日に高森荘訪問をしました。それまで私は高森荘へ行ったことなんて一度もありませんでした。障害者の方と接するのものはじめてでした。何をとてもはじめての経験になる私にとっては、とても不安で、それでいてとても楽しみなものでした。全員がしゃかり交流でき

昼食のカレーでした。玉置先生が、「よく味を覚えておくように。」と言っていたので、三ばい食べたら腹が痛くなってしまいました。来年は中学生になるけれど、やみつきになってしまったので、来年も行きたいです。もっともっと、想い出がふえるといいな。



いよいよ八月四日です。私は何ともないような顔をしていだけれど、本当はものすごくドキドキしていました。自由時間になりました。私は小平さんと言う方といろいろ話をしました。それまで私は、障害者という人は、自分とはちがうと思っていたけれど、そんなこと全然ありませんでした。どこもちがうところなんてありませんでした。とても楽しく、三十分なんて、あっという間に過ぎてしま

最後に「親知らず、子知らず」を歌って終わりました。クラスのみんなが交流できた、とても良い訪問になりました、また自分にとっても、よい経験になりました。来年も行きたいです。





グループ紹介

出砂原もみじ会 (六区)

熊谷 筑子

私達の料理が参加しております。教室「もみじ会」では、発足以来早や、十年余になろうとしています。毎週第二火曜日を例会実習日と定めております。御指導をいただく堀尾先生松下先生方とは、家族的な雰囲気の中で楽しませていただいております。

この会には二十名程の方

が参加しております。

二人一組の当番が、その日に使用する材料を買い揃えて、その材料で作りました。料理に対して、先生からの御指導を頂戴いたします。

自然は私達に、春夏秋冬、それぞれの豊かな食材を提供してくれま

私達「もみじ会」では、季節の野菜や魚介類の持つ素材をただ料理するのみでなく、栄養バランスのことも充分配慮した上で、いかに安価にそして見た目にもよく、おいしく仕上がるかという事について研究しております。しかし同じ材料を使用いたしましても、先生の御手にかかると、全く異なったお料理に仕上がります。

料理の奥の深さには、いつも驚かされるばかりです。この会に参加し、色々な事を学ばせて戴きました。

お料理の事のみではなく、先生の体験談を拝聴したり、健康について話合ったり、お年寄りの方々と交流を深め合ったりと。月

一回の「もみじ会」ではありますが、先生や共通の目的を持った方々との交流が楽しみであり、いつまでもこの会が長く続きます様に願っております。

金木犀 (四区)

牧内 タキエ



私達金木犀クラブは、民謡のクラブで会員は現在十名おります。部落の踊り好きな者同士集まり、このクラブが発足した訳です。練習日は月二回ですが一回は先生の指導日、もう一回は会員だけの復習日として活動しています。歌に合わせて夢中で踊っていると結構いい汗をかき、ストレス解消にもなります。練習途中でちょっと一息と汗を拭きながらお茶を飲みます。世間話をしてみたり、今度の発表会はどうな衣裳にしようかなど、楽しい話題で花を咲かせています。お茶の後は、「さてもう一踊りやりませんか」「先生もう少しゆっくり教えてや」「わかったわかった」「皆さん本番のつもりで頑張ってください」

金木犀クラブ今後とも頑張りますので応援して下さい。

編集委員紹介

どうぞよろしく

委員長	下市田公民館主事	北原 洲平
副委員長	富田 隆平	北島 剛
会計	仲平 眞司	
下市田公民館長		
下市田公民館副館長		
吉川 広子	後藤 健一	秋田 敬子
宮下 敬子	坂島 由恵	松沼 昭三
上沼 豊敬	原井 光子	新井 タキエ
牧内 洋子	竹村 直人	池田 千恵子
福沢 芙美子	牧内 美代子	佐々木 エツ子
橋都 美	村沢 婦美	

編集方針 (内容)

一、区の出来事 (情勢、行事、事業等) を記録 (歴史) として集録する。

編集後記

暖冬といわれているうちに春となりました。今晩は二回目の編集会議です。十時を廻っているのに、原稿の修正と配置に真剣な視線と指が動いている。

新しい委員が多いので、戸惑うことが多く、失敗の叫声や、笑い声も聞こえてきます。

今回は、代議員、各委員、公民館役員が改選になったのでその紹介の記事が多くなっています。なお、萩の里ふれあい広場、町議と区民との懇談会の特筆記事も集録しました。

本号は、特にご多忙の吉川町長さんに寄稿をお願い致しました。原稿有難うございました。

区報は、区民の情報紙です。自由に投稿して下さい。

二、区民の生活や、活動の様子、意見希望など情報として伝える。
三、区内の自然・歴史・風物・文化遺産などを集録する。
四、記事には、多くの写真や図をいれて見やすく、親しみやすくする。